

2012年 司書部 冬の研究集会

日時 : 2012年12月5日(水)

場所 : 大阪府立大手前高校

参加者 : 47名(府立35 私学12)

- 内容
1. 教科(家庭科)との連携と図書委員会活動
 2. 図書館見学の後、意見交換
発表 大手前高等学校 葛城実樹さん
 3. 図書館の挑戦・・・大谷の場合
発表 大谷中高等学校 樋田道男さん

1. 教科(家庭科)との連携と図書委員会活動

発表 大手前高等学校 葛城実樹さん

(1) 学校紹介

1886年(明治19年)大阪府師範学校女学科より独立し「大阪府女学校」と称し創立。
1948年(昭和23年)大阪府立大手前高等学校設置。通信教育部開設(1966年廃止)。
1950年(昭和25年)定時制(夜間)開設。
1993年(平成5年)全日制課程に理数科を設置。
2008年(平成20年)SSHに指定される。
2011年(平成23年)文理学科設置。進学指導特色校指定。
2012年(平成24年)創立126周年を迎える。各学年9クラス、総生徒数1082人。
理数科3年生2クラス。文理学科1・2年生8クラス。
普通科17クラス。

(2) 図書館紹介

1991年(平成3年) 新校舎に移転
2001年(平成13年) 定時制図書館と合併
2005年(平成17年) 司書異動

開館時間 通常授業日の昼休み、12:15~13:00
放課後、15:20~17:00

蔵書冊数 約3万冊(バーコード貼り付け済み約19000冊)

購入雑誌 Number、オレンジページ、Piano、ダ・ヴィンチ、ニュートン、
芸術新潮は教科予算で購入。その他寄贈

図書購入 寄贈本も多数。SSH指定後は別予算あり。
消耗品は別予算(新聞・雑誌・全国大学入試問題正解集・カバーなど)。

読書指導と小論文指導の一環として平成 18 年「大手前の 100 冊」選定、購入。

平成 19 年「大手前の 100 冊 進路編」選定、購入。

授業支援 オーラルで各国事情調べ。
書道絵手紙の題材調べ。
家庭科生活課題テーマ学習。
SSHサイエンス探究。
文理科課題研究。
体育実技不参加者のレポート課題等。

(3) 絵本の授業について

4 年前に家庭科教諭が、妊娠・出産・育児について経験のある先生に体験談を話してもらった事を授業に取り入れました。その時私には「育児（幼児の遊び）の関連で、絵本について話をしてほしい。生徒が保育実習の際に絵本を読んだり紙芝居をするので実際に“読み聞かせ”をしたり“読み聞かせのコツ”などを教えてやってほしい」と要望がありました。

それ以降絵本についての授業（65 分授業の中で 40 分～60 分）をしています。

導入と結びを家庭科の教諭がし、実際の絵本についての授業を司書がおこなっています。司書としてたくさんの絵本を紹介しながら読み聞かせをし、絵本の楽しさに触れさせています。対象は 1 年生です。

（解説を加えながら、実際に授業でされているようにたくさんの本を紹介されました。それぞれの本はリストで紹介します）。

以前、家庭科教諭が生徒に絵本を手作りさせた年もあり、絵本製作も踏まえて授業をしています。「絵本がなぜハードカバーなのか？」「ページ数がすくないのになぜこんなに頑丈な装丁だと思う？」と問いかけます。生徒からは「つぶれやすい」とか「なめるから」「かじるから」などの答えが返ってきます。読み聞かせ時にしっかり見せることができる、立てて読みやすいなどを説明します。画材、タッチ、題材などいろいろな絵本があることも知らせるために、たくさんの絵本を見せます。『いやだいやだ』（ちぎり絵）や『あさ／朝』（写真絵本）、『モチモチの木』（切り絵）、『おおはくちょうのそら』（版画）など画材の違いと描写力のすごさや『大きな運転席図鑑』のように男の子が興味を引く大型絵本、アニメが絵本化された『つみきのいえ』などです。

絵本を読むときには、聞き手から感想を求めてはいけない事を教えながら、授業では絵本の解説をします。

まず絶対泣ける絵本と言われている『いけちゃんとぼく』。雨でもいろいろな雨があることがわかる『空の絵本』。『桐壺』は源氏物語の 1 編ですが、日本画による描写や英語訳の掲載にも触れます。『ソルビム』は韓国のお正月の様子がわかる絵本です。リアルに描写された絵本『きょうのごはん』では、どのページにも登場する猫がいろいろな家の夕食を覗き見る設定なども解説します。また、奥付が日本の本では最後のページに記載されている

が海外の本では前に記載されていることも説明します。

『だるまさんが』は、字の読めない子どもは絵を見ているので読み終わっても間を取るように言います。間を取ることによって次のページへの期待を掻き立てられるからです。

『どうぶつのおやこ』は活字のない絵本です。子どもは「絵本、読んで!」と言って、文字のない本を持ってくることがあります。そんな時は読み手がお話を作って届ければいいと説明します。「あっあっ」「あうー」など、乳児が発する意味のない声を「喃語(なんご)」といますが、まだ言語を習得する前段階で、声帯の使い方や発声される音を学習しているところです。子どもは話せなくても意味は理解できるので、ゆっくりとはっきり語りかけることが大切です。



絵本がいろいろな手法で表現されていることや、いろいろな本があるという紹介もします。『サーカスがやって来た』はシートを使って絵が動くものです。『まるまるまるの本』は本を動かしながら読む参加型の絵本です。ポップアップ絵本『不思議の国のアリス』や『冬ものがたり』を見せると、高校生でも幼児と同じようにキラキラした笑顔で喜んでくれます。

子どもたちは同じ本を何度も読んで欲しがります。文字が読めなくても絵と話をよく覚えていて、勝手に飛ばそうものなら怒られてしまいます。『うんこ!』は依頼があって導入しました。読むコツは恥ずかしがらないこと。

『はらぺこあおむし』は日本で一番読まれているロングセラーの外国の絵本です。初版は1976年、奥付を見るとその本が何刷か?がわかるのですが、いま持っているものは35年間に511刷。如何によく売れているかがわかりますね。『おおきな木』は英語版と訳者の違う2冊を紹介し、同じ英文でも訳し方によって印象が随分変わると教えています。

自分が絵本の講習会などに参加してとても楽しい体験をしたので、生徒にも絵本の世界を味わわせたいとの思いで授業ではたくさんの絵本を紹介しています。高校生でも声に出して笑ったり感嘆の声をあげたりするのでこちらも楽しくなります。

「普段生徒には、最後に「おおきな木」を読みますが、今回は本を扱う司書が対象なので。」と言って、『モリス・レスモアとふしぎな空とぶ本』を読みまれました。

(4) 今回紹介された絵本のリスト

タイトル	作者など	出版社
いけちゃんとおぼく	西原理恵子／著	角川書店
おおはくちょうのそら	手島圭三郎／絵・文	リブリオ出版
どうぶつのおやこ	どうぶつのおやこ	福音館書店
大きな運転席図鑑ぶらす 運転手はきみだ！	元浦年康／写真	学習研究社
つみきのいえ	加藤久仁生／絵 平田研也／文	白泉社
いやだいやだ	せなけいこ／さく え	福音館書店
あさ／朝	谷川俊太郎／著 吉村和敏／著	アリス館
だるまさんが	かがくいひろし／さく	ブロンズ新社
空の絵本	長田弘／作 荒井良二／絵	講談社
モチモチの木	斎藤隆介／作 滝平二郎／絵	岩崎書店
桐壺	紫式部／原作 畠中光享／絵 石井睦美／文	京の絵本刊行 委員会
ソルビム お正月の晴れ着	ペヒョンジュ／絵と文 ピョンキジャ／訳	セーラー出版
きょうのごはん	加藤休ミ／作	偕成社
ぐうぐうぐう	五味太郎／作	文化出版局
サーカスがやってきた Amazing circus Moving picture book	よぐちたかお／さく	福音館書店
うんこ！	サトシン／文 西村敏雄／絵	文溪堂
まるまるまるのほん	エルヴェ・テュレ／さく たにかわしゅんたろう／やく	ポプラ社
はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく もりひさし／やく	偕成社
不思議の国のアリス とびだししかけえほん	ルイス・キャロル／原作 ロバート・サブダ／さく わくはじめ／やく	大日本絵画
冬ものがたり とびだししかけえほん	ロバート・サブダ／さく わくはじめ／やく	大日本絵画
おおきな木	シェル・シルヴァスタイン／さく・え ほんだきんいちろう／やく	篠崎書林
おおきな木	シェル・シルヴァスタイン／作 村上春樹／訳	あすなろ書房
The giving tree	Shel silverstein	Harper&Row
モリス・レスモアとふしぎな空とび本	ウィリアム・ジョイス／作・絵 おびかゆうこ／訳	偕成社

2. 図書館の見学

(1) 着任以降、行った事、心がけていること

◎使いやすい図書館を目指す。明るくきれいにする。

- ・配架レイアウト左右入れ替え（5階の書棚の分類が右→左に並んでいたのを総入れ替え）
- ・返却ボックスの設置
- ・鞆棚の廃止
- ・分類表示板、見出し板を作成
- ・閲覧室のカードケース（5台）廃棄
- ・個人（寄贈）文庫の有効活用
- ・古い図書を書庫へ移動・書庫内の古い図書は廃棄
- ・予算が少ないため、積極的に寄贈本を受け入れる
- ・大阪府立中央図書館から平成23年度より団体貸し出しを受ける
- ・定時制図書を一体化
- ・環境美化に努める（図書館内全面ワックスがけ・カーテン新調・蛍光灯交換
一年中空気を入れ替えるために毎朝窓を開放する）

(2) 特色と問題点

- * 特色
 - ・6階からの眺め。大阪城を真正面にできる絶景
 - ・カウンターのクラフト作品
- * 問題点
 - ・掲示物を貼る壁や、特集を展示するスペースがない
 - ・メゾネットタイプの図書館の長所と短所
 - ・5階で利用できる机やスペースが無い
 - ・書架を移動できない

非常に歴史のある学校なので古い本がたくさんありました（以前は大正時代の本が普通に書架に並んでいたりしたそうです）。古い本を書庫に移動させて本の整理をしたけれども、固定の書架が多く、レイアウト等変更には限界があるとのことでした。図書館の特徴やこれまでに行ったこと、心がけていることなどの説明を受けて図書館を見学しました。

(3) 図書委員会について（半ばクラブ活動の様な有志組織ですが）

- ・クラブ紹介で勧誘パフォーマンス（新入生オリエンテーション）
- ・文化祭参加（バザー：読書推進活動の一環としてブックチャームや葉、ブックカバー等を手作りし販売する。古本市も行う）



- 特設コーナーや展示
- 年 4～6 回の「library times」発行
- カウンター業務
- 蔵書整理

3. 図書館の挑戦・・・大谷の場合

発表 大谷中高等学校 樋田道男さん

(1) 学校および図書館案内

本校は真宗大谷派の教えを建学の精神にもつ中高六年一貫の女子校で、学級数生徒数は、中学 21 学級・約 730 名、高校 24 学級・約 850 名で高校には海外からの 1 年間留学生 2 名が在籍しています。図書室は中高共用です。図書室は、正門近くの教室棟「東館」の 1 階にあり中学校舎と隣接しています。生徒の利用時間は月曜から金曜は、お昼休みと終礼後～午後 6 時まで、土曜は終礼後から午後 2 時までです。中高所属の司書教諭各 1 名（うち高校は私）が常駐し図書館業務を行っています。また中高それぞれ教務部内に図書の係教員が各 1 名配属され、発注や支払い処理の伝票の決済や確認を主に行っています。

図書室の利用状況は、昨年度 1 年間の生徒の貸出総数が 4584 冊で、入室者数は一日平均約 70 人です。この数年減少傾向にありましたが、昨年度は久しぶりの増加です。ただし、実際に貸し出した生徒の数では 520 人で在籍数の 30%にとどまっています。

(2) 『図書室ニュースレター』の発行

図書館だよりとしては、図書部発行の『萌葱（もえぎ）』で図書の紹介や開館などの案内を不定期に行っていましたが、平成 17 年度の蔵書管理システムの導入を機に、平成 18 年 4 月『図書室ニュースレター（仮）』の創刊号を発行しました。使用ソフトは Microsoft Publisher で B4 版二つ折りの小冊子の形式です。現場担当者のお薦めはできるだけ少な

くして、先生方からのおすすめの本や思い出の一冊などを掲載していましたが、最近は図書室からの本の紹介に変わっています。中高全生徒・事務職員や校務職員を含めて教職員全員に配布をしています。



※編集のポイント

・本の選書……蔵書の有無にこだわらない。
書店員やテレビや新聞あるいは雑誌などの書評を参考にし、利用されるか、この先注目されるかという点で選書する。最終的には直感。

☆最近の注目作品は

『珈琲店タレーランの事件簿 また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を』
岡崎琢磨 著 宝島社文庫

・編集者（私）が気になっている、はまっている作家や作品を継続的に紹介。

例）田中芳樹・海堂尊・有川浩・鯨統一郎、最近では堂場瞬一等

☆田中芳樹 → 『夏の魔術』のシリーズ、『岳飛伝』等（いずれも講談社文庫）。

☆海堂尊 → 『スリジエセンター1991』（講談社刊）

☆有川浩 → 『旅猫レポート』（文藝春秋刊）

☆鯨統一郎 → 『タイムスリップ忠臣蔵』（講談社刊）

☆堂場瞬一 → 『消失者 アナザーフェイス4』（文藝春秋刊）

・読んでみたい本・読んで欲しい本として、夏休みに向けて紹介。

☆寺田寅彦の『天災と国防』（講談社学術文庫）

☆野崎昭弘の『詭弁論理学』（中公新書）

この数年で最大のヒットは『もしも高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』。当時の生活指導部長からも講堂朝礼時に全学年で紹介され、年間の最多の貸出回数を記録しました。

※様々な企画の掲載

・名言名句や心に響く詩の掲載 → “五行歌”の掲載

・参加型の企画

例）クロスワード、数独（ナンバープレイス）、ステレオグラム、ノベルズに挑戦、図書室

検定

「図書室検定」とは・・・

毎回10個の問題に挑戦し、全問クリアでランクアップ。都度の特典を提供しています。図書室に足を運んで図書室のことを理解してもらうのがねらいです。

問題例) 入口の向き、蛍光灯の数、通常の貸出冊数や延長の回数、具体的な図書の所蔵場所と請求番号等々。

(3) 教員向け『図書室レポート』の発行

地区会の研究テーマとしてあがった活動報告書の作成がきっかけで、教員向けに『図書室レポート For Teachers』の発行をはじめました。主に4月と11月に発行しています。4月・・・蔵書点検の結果、前年度の年間活動報告・総括・新年度の活動予定案内等。現状確認と課題を明示しその年の目標を伝えることが目的です。図書館活動の確認と改善に役立てています。

11月・・・学校読書調査と読書世論調査の中から記事を抜粋して紹介。読書活動の紹介と読書活動の啓蒙が目的です。生徒や世間の読書活動をめぐる諸事情を共に確認し、読書活動の推進に活用しています。

(4) しおりのデザインコンテスト

蔵書管理システム導入に伴い作成した利用者カードのデザイン募集で、採用できなかったデザインについてカラーコピー機を活用して簡易しおりを作成し、貸出時のプレゼントとして提供をはじめたところ、貸出利用する生徒達や先生方に好評でした。また、デザイン募集終了後、生徒から、同様のコンテストの開催について問い合わせを受けて、平成22年度に「しおりのデザインコンテスト」として絵柄の募集を行いました。

第1回目は中高あわせて20点の応募があり、原画と複写したものを掲示して、そこから1点を選ぶ方法で投票を呼びかけました。投票用紙を全校全生徒全教職員に配布し、クラス単位・学年単位での回収。結果、全体として八割を超える投票で課題が残る結果となりました。全体での最多得票作品と上位3位の作品には記念品を贈呈し、美術科の教員に美術の観点から選び抜き、美術科特選として別途記念品を贈呈しました。応募者全員には参加賞とデザインから作成した原シートを記念品として贈呈しました。次点以下の作品もしおりにして、貸出時のプレゼントとして提供しています。

昨年からはしおり全体のデザインを考えてもらい、できあがりのサイズにあわせて募集を呼びかけ、片面と両面に分けて投票を行い最多得票の作品を選び出しました。集計やしおりの作成は我々司書教諭2名で行い、最多得票の作品はしおりにして、全校の生徒教職員に配布しました。<A3判の光沢紙にカラー複写(1枚に40部)をしてシート約50枚をハサミで切り分けて約2000枚を作成します。>



(5) SNS「ライブラリーカフェ」

普段業務をしながら、あるいは地区会や研修会などに参加できない状況の中で孤独になりがちなところで、お互いの情報交換ができないものか模索する中から SNS の活用を頭に描いていました。SNS はソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称で、フェイスブックが有名です。SNS では、画像の掲載や取り込み、コメントの書き込み、スケジュール管理などを一元的に扱いそれらを参加者同士で共有することが可能で、孤立化している環境下では悩みの解決手段としてはうってつけのツールです。ネット上で無料で使えるサイトを見つけ始めたのが「ライブラリーカフェ」です。無料なので利用の際に広告が表示されるのが難題の一つです。

「ライブラリーカフェ」は「PEOPLE（ピープル）」という無料で運営できるポータルサイトを利用しています。ピープルの提供している SNS には参加メンバー同士がお互いにフレンド登録しながらコミュニケーションを広げていく「フレンドタイプ」と、最初から全てのメンバーがフレンド登録された状態でコミュニケーションを開始できる「グループタイプ」との2種類があります。ライブラリーカフェは「グループタイプ」です。試験的に私が管理者になり、地区の仲間に招待のメールを送りました。参加希望者を募り、許可されたメンバーのみの参加で、一部を除き外部へは非公開の SNS です。トップページで外部に公開している部分は日記の部分で、参加メンバーの日頃の活動や悩みなどを直接見ることができます。匿名参加でニックネームやハンドルネームなどで学校名や氏名などは伏せて始めましたが、誰なのかわからないという指摘がありました。参加者の協力を得てハンドルネームはそのままでも誰なのかわかるようにしました。結果として、地区内で顔なじみのメンバーが集まり、司書部の事務局長にも参加いただき、現在に至っています。

※機能について

・日記

メンバー各自の活動や悩みなどを日記としてかきとめて公表することが可能。メンバーは日記に対してのコメントを書き込むことも可能。

・データのアップロード

図書館だよりや展示風景などの画像などをデータとして格納し、メンバー同士で自由に閲覧やダウンロードが可能。

・スケジュール機能

地区会や研究会などのスケジュールをカレンダー機能で管理することが可能。

・レビュー

その名のごとく本（や商品？）の紹介。アマゾンと連携し、画像情報や本の場合簡単な書誌情報をアマゾンで確認できる。紹介文などを添えて登録することで、ブログと同じように閲覧者のコメントを掲載することが可能。自館だけの情報に限らず他校で人気のある本や、メンバーからのお薦め本などを自分のページで作成し管理し、公開できる。選書やお薦め本の紹介などに活用中。

- ・アンケート機能

メンバー同士で確認したいことなどをアンケート形式で問い合わせ、参考にできる。

等々

(6) 最後に

紹介した SNS は情報社会ならでのツールです。専任・非専任、あるいは係、担当、兼務、あるいは不在などで業務や運営などで一人悩みとまどう事の多い現状では、大きな助け船になるように思います。多くの仲間と支え協力しながら学校の図書館が、生徒や教職員のよりどころであり憩いの場となるようこれからも挑戦を続けていきたいとしたいと思います。

<感想より>

* 大手前高校の図書館を見学して

- ・ 伝統ある学校らしく図書の蔵書数、ラインナップが羨ましかった。お城の見える自習室兼図書室ステキです。自分も昔図書委員だったので、懐かしく手作りしおりも見ました。
- ・ 多くの生徒が利用していますね。素晴らしいことです。
- ・ 古い本がたくさんあって整理が大変だったと思いますが頑張っている様子がよくわかりました。大阪城の見える美しい景色が羨ましいです。
- ・ 大阪城を眺めながら読書ができるのはとても素晴らしい環境だと思います。自習用のいすが多いことにびっくりです。ゆっくり勉強&読書ができると…私も活用したいと思いました。
- ・ 以前より本が探しやすくなったと思いました。
- ・ ものすごく頑張って本を減らされたのだなと思いました。伝統校ならではの悩みですよ。新刊はとても参考になりました。図書委員の子たちが生き生きしているのがステキだなと思いました。
- ・ 素晴らしいロケーション。うらやましい…。書架も見やすく、落ち着いた感じで長居できそうですね。
- ・ 伝統ある学校の本の管理、整理は大変だったことと思います。私も現任校に 6 年目で、前任者の独特な置き土産の整備方法、書架の配置等を利用しやすいように変更していったと落ち着いてきたところなので、同感いたします。その 6 年間に他教科との兼務になり、かなり図書室にとれる時間が減って新刊本を出すにも困難な状況です。2 フロアに分かれているのも初めて見せてもらいいろいろ考えさせられました。困難校ならキツイなとか…。見学させていただいてありがとうございました。紅葉越しに大阪城を見る機会を作ってください感謝です。
- ・ 図書目録カードの利用、「消しゴムのかす入れ」等早速本校でも真似をさせていただきたいと思います。
- ・ 大変明るい図書館でした。



- とても壮大な景色に感動しました。この図書館で勉強できる生徒が羨ましい！！
- 本が古いですね。私の所もそうですが、今年思い切って昭和の本を書架から抜きました。本は半分以下になりましたけどすっきりしましたよ。
- 蔵書数の多さや、学習スペースの状態等、とても素晴らしいと思いました。図書館からの景色も大変美しいですね。
- 本校も本を展示する場所がなくて困っているのでご苦労がよくわかります。「大手前高校 100冊」なかなかすばらしいですね。新しい本も沢山入っていて良かったです。どういう風に本を選ばれたのでしょうか。

* 大手前高校の実践報告を聞いて

- 絵本に進学校の生徒でもくいついて来るんですね。
- 高校における絵本の活用について大いに参考になりました。ありがとうございました。
- 司書で授業をしている人は少ないと思います。すごい実践報告で感動しました。
- 絵本のことよくわかり楽しかったです。
- 高校で“絵本…！”って思いましたが読み聞かせして頂いて、私自身も楽しんでいることにびっくりしています。絵本も購入してみたくなりました。
- 大手前で絵本のことをここまでやっていることにびっくりしました。絵本の読み聞かせのコツ等参考になりました。
- 家庭科の保育は本校もしています。こういった図書室からの絡み方をさせてもらえるよう、今回の報告を踏まえて交渉してみようと思いました。
- 絵本の読み聞かせ、もっとじっくり聞いてみたいです。私も読み聞かせが好きでやってみたいのです。教科連携がなかなか難しく古い本も多いので、手が出せていません。
- いわゆるブックトークと違って、保育を主題として絵本について生徒向けに話される、ということはすごいことだと思います。ただ、司書(実教)が教諭に変わってそこまでするのはどういう感じなのかと思います。司書が話しているその時間、教諭は何かされるのでしょうか？すべてこちらにお任せなのでしょうか？これだけのことを任せられるということはかなり重要なことだと想像されますが、教諭とのかかわり方等も知りたかった気がします。
- 絵本の読み聞かせは、年度初めの「図書館オリエンテーション」で是非やってみたいと思います。
- いろいろ工夫されて、頑張っているらっしゃるなと感心しました。楽しい絵本を紹介していただいてありがとうございました。
- 私は工科高校なので対生徒との読み聞かせは少し考えづらいですが、上手に読まれるなと思いました。
- 私の高校でも生徒ボランティア活動の一環で幼稚園での絵本よみきかせをやっており、図書館の立場から協力できないかと思っていたのでとても参考になりました。
- 「絵本の読み聞かせ」等授業中にも図書を活用されているということで、図書の有効な活用の仕方について改めて考えることができ、よかったです。

- 絵本の紹介をたくさんしていただき楽しかったです。生徒に絵本を紹介するヒントになりました。来年のオリエンテーションで使わせていただきます。
- 本校でも保育実習の準備で図書館を使っています。絵本の読み語りもやりますが、基本は子供の発達に合わせた絵本とは？ということが中心です。大手前ではどのようにされているのでしょうか？ 基本方針のところがちょっとわかりませんでした。一部の絵本は、少し対象年齢が高いのでは？ また、生徒が絵本の読み聞かせや図書館を使うことで、どのように実習に活かしていたのかなどなど、もう少しお話ししていただきたかったです。
- 本校も保育の授業で図書館を使って絵本の授業を1時間行っています。同じ保育の絵本の授業でも50分の使い方、紹介するのに選んだ本、同じ本でも読み方、などなど司書によって随分違うんだなぁと思いました。

*大谷高校の実践報告を聞いて

- 見習いたいと思いました。
- 準備等、大変だったと思います。ご苦労様でした。
- ライブラリーカフェは機械の苦手な人間にとってなかなか難しいです。
- いろいろ活動されていることに、私も何かしないと！！と思いました。参考にさせていただきます。ライブラリーカフェ、見てみます。
- 他の教員の方のおすすめ書評が集まりにくくなってきたという点は本校も全く同じで悩みも一緒だなぁ…と思いました。図書館クイズを通信上で段階的になさっているのが面白かったです。
- やはり集中して図書のことに関われるってことは大切なことだと思います。できそうなことから参考にさせていただきます。
- ライブラリーカフェに参加したいです。
- 大変楽しく図書館活動をされているのが伝わって大変良かったです。ライブラリーカフェについてももう少しお話を伺わせていただきたかったです。
- 「あずきフォント」参考になりました。ライブラリーカフェ、参加しようかな？
- 専任の司書教諭が二人という強みですね。良い実践をされていると思います。
- ライブラリーカフェ、もっと見たいと思いました。
- たくさんの取り組みを知ることができ、参考になりました。
- 大変参考になりました。

*全体を通じて

- 初めての参加なのでいろいろ勉強になりました。
- 今回もとても実際に役立ついい内容でした。ありがとうございました。
- 多くの参加者に少しとまどいました。お話しできる機会があればと思い残念です。
- やるべきことはたくさんありますが、まずは自分が得意なこと、やっていて楽しい業務を続けていくのでもOKなんだと思えました。ご報告ありがとうございました。

- いつも勉強になる研修ありがとうございます。本当に助かります。
- ライブラリーカフェ、参加させていただきたいと思っています。ありがとうございました。
- 実りのある研修でした。日々いろいろ実践されている司書さんに刺激されました。また、明日から頑張ろうという気になりましたよ。